



# 6年連続ギネス記録 感謝

——シュゼット・ホールディングス(兵庫県西宮市)が手掛ける洋菓子ブランド「アンリ・シャルパンティエ」のバターケーキ「フィナンシェ」の年間販売個数は世界一だ

「2018年10月～19年9月の1年間で約2900万個お買い上げいただき、6年連続でギネス世界記録を獲得しました。大勢のお客さんに支持され、うれしく思っています。アーモンドパウダー、バター、砂糖…。非常にシンプルなレシピで作っているお菓

## 関西 経営者列伝



(柿平博文撮影)

子ですが、社員の思い入れは強く、コクを出すために北海道産の生乳を使った発酵バターを作ったり、香り豊かな米カリフォルニア産のアーモンドを買ってきて自分たちで粉にしたりと材料にもこだわっ

### シュゼット・ホールディングス 田剛毅社長(46)

ています」

——複数のパティシエが洋菓子世界大会のメダリストに輝いた

「2年に1度、約20カ国が集まってフランスで開かれる『グループ・デュ・モンド・ドゥ・ラ・パティスリー』に日本チームの一員として参加し、17年と19年にそれぞれ銀賞を受賞し、望外の喜びでした。日本予選は50人程度が参加し、書類と実技の審査で上位3人が選ばれて出場できる難関です。他社のパティシエに教えを乞うて技量を磨いてくれました」

——大学卒業後、電通に入社。家業を継ぐ考えはなかったのか

「好きなスポーツにかかわれそうだと聞いて電通を志望しましたが、うまくいかず、3回目の挑戦でやっと入社できました。入社して10年という節目を迎えたとき、狙っていた仕事が自分に回ってこず、家業を手伝うタイミングだと決断しました」

——11年に社長就任後、赤字脱却が課題だった

「お客さんの声を聞いて、改めてフィナンシェに力を入れようと決めました。一番新鮮でおいしいと思ってもらえるよう、現場の無駄をなくす『トヨタ生産方式』を参考に効率よく生産し、お買い求めやすい価格を実現しました」

——新型コロナウイルス禍の影響は

「一時は(売り上げが)前年比8～9割減に落ち込みました。そんな中でも誕生日ケーキの需要はなくなりません。極限の状態でも(洋菓子の必要性を)自覚させてもらいました」

——コロナ禍で従業員削減に踏み切った企業は多い

「操業停止した工場をいくつか再開できるかららず、熟練の職人を守るために、草むしりなど仕事を無理やり作らなくて、職人に会社に残ってもらいました。ピンチで燃える人も多く、工場の1人当たりの生産高はコロナ禍で上がりました」